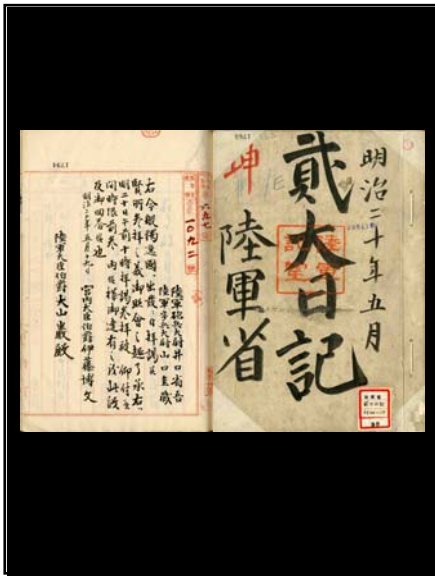


平成 22 年度は、日露戦争に参加した軍人の中から毎号一人を取り上げて、図書館史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 井口 省吾 1855～1925年 》

一日露戦争において児玉総参謀長の片腕として活躍した功将一



井口砲兵大尉山口歩兵大尉拝謁之件

(登録番号：陸軍省一貳大日記一M20-17-38)

井口省吾大將（旧陸士 2 期、陸大 1 期）は日清、日露両戦争に主要参謀として参加し、その後は、陸軍大学校長、韓国駐割軍司令官等を歴任しました。この史料は同大將（当時大尉）がドイツ留学にあたり明治天皇に拝謁した時のものです。明治 20 年 5 月 19 日付で「右今般獨逸國、出發二付拝謁并賢所参拝之義御照會之趣了承右ハ明二十日午前十時拝謁参拝被仰付・・・」とあり、宮内大臣の伊藤博文から陸軍大臣の大山巖に対し、拝謁の了承と日時についての回答が行われています。時はまさにフランス式からドイツ式への変革期であり、井口大將は約 3 年半にわたってドイツ軍政及び兵学を学びました。



年中重要記事（登録番号：文庫一井口史料-6）

井口大將は陸軍大学校教官時代（明治 20 年）から後備役時代（大正 9 年）までの 33 年間にわたり「年中重要記事」（日記、第一号～第五十号）を書き残しました。この史料は同記事の第二十二号（明治 37 年～40 年）で、同大將（当時少将）が日露戦争において満洲軍参謀として活躍した時期のものです。同号の明治 37 年 11 月 15 日の項には「奉天作戰ニ就テ會議ス。大山總司令官ハ旅順ヲ先ニセラレンコトヲ欲セラレ同意セラレス。」、また同 29 日の項には「第三回旅順攻撃意ノ如ク進捗セサルニ依リ児玉総参謀長同地ニ派遣セラレ本夜出發。」など、当時、懸案であった旅順要塞攻略戦をめぐる貴重な記述がみられます。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。
防衛研究所企画室
専用線：8-67-6522、6588 外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>